

領域	専門分野Ⅱ	授業科目	母性看護学Ⅰ	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業回数	14回
担当講師名	専任教員 非常勤講師	講師所属	福岡水巻看護助産学校		
特記事項	—			—	

授業のねらい

女性のライフサイクルにおける最も健康上の支援が必要な周産期の中で、妊娠・分娩期のメカニズムとその特徴および健康問題を理解する。また、妊産婦の身体的・心理的・社会的変化に適応するためのセルフケア、健康増進やマイナートラブルおよび家族への援助を学ぶ。

授業目標

1. 妊娠・分娩期における身体的・心理的・社会的変化および健康問題を述べることができる。
2. 妊娠・分娩期におけるセルフケアと健康増進を促す看護援助を述べるができる。
3. 妊娠・分娩期にある母子の健康状態を観察・評価する為の看護技術を実施することができる。

授業概要

1. 妊娠期における看護 (20時間)

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| 1) 妊娠期の身体的特性 | 2) 妊娠期の心理・社会的変化 | |
| 3) 妊婦と胎児のアセスメント | 4) 妊婦と家族の看護 | |
| 5) 妊娠期の健康問題と看護 | | |
| (1) 妊娠持続期間の異常 | (2) 感染症 | (3) 常位胎盤早期剥離 |
| (4) 前置胎盤 | (5) 妊娠高血圧症候群 | (6) 妊娠糖尿病 |
| (7) 血液型不適合妊娠 | (8) 異所性妊娠 | (9) ハイリスク妊婦の看護 |
| (10) 多胎妊娠 | (11) 胎児機能不全 | |

2. 分娩期における看護 (8時間)

- | | | | |
|--------------------|-------------|-------------|----------|
| 1) 分娩の要素 | 2) 分娩の経過 | | |
| 3) 産婦・胎児・家族のアセスメント | 4) 産婦と家族の看護 | | |
| 5) 分娩期の看護の実際 | | | |
| 6) 分娩期の健康問題と看護 | | | |
| (1) 前置胎盤 | (2) 帝王切開 | (3) 分娩時異常出血 | (4) 陣痛異常 |

<演習> 妊婦体験、腹囲・子宮底長測定、レオポルド触診、児心音測定、分娩監視装置の取り扱い、妊婦体操指導、産痛緩和、胎盤測定

【担当からのメッセージ】

妊娠・出産をイメージすることは難しいかもしれませんが、解剖生理学Ⅳ(生殖器)で学んだ知識を活かし、新しい生命の誕生における支援のあり方を積極的に学びましょう。

授業の進め方

講義、グループワーク、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕母性看護学各論(医学書院)

参考図書

マタニティ診断ガイドブック(医学書院)

看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術(メヂカルフレンド社)

評価方法

終講時 客観式テスト(70点 30点)

試験時間は時間数に含む。